

日本における令和4年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



## ☆つげ口の悲劇？

ある日のことです。突然AがBに言いました。

A『Cって、面白い顔してるよな～。おれ、見るとつい笑っちゃうぜ。』と。

それを聞いたBは、さっそく次の日にCに伝えます。

B『ねえC、Aったら、君のことを笑っちゃうような面白い顔してるって言ってたよ。』と。

それを聞いたCは、落ち込んでしまいました。しかし、時間がたつにつれ、腹が立ってきました。怒りがおさまらないCは次の日、Aを呼び出し、顔をなぐってしまいました。その際に倒れてしまったAは、目を机の角にぶつけて大けがををしてしまいました。失明してしまうかもしれません。

このケースについて、ABCの三人をそれぞれ振り返ってみましょう。

Aについて。悪口を言わなければ、Cになぐられてしまうことはなかったですね。

人の容姿を馬鹿にするような不用意な発言は慎むべきでした。

Bについて。BはなぜCに伝えたのでしょうか？悪口は許せないという正義感ですか？Cの味方だからですか？その気持ちはわかります。でも、悪口を伝えたことで何が起きたか？Cは落ち込み、結果的には、暴力、大けがとなってしまいました。Cの人生はこの後どうなっていくのでしょうか。もし、BがCに悪口を伝えなければ、こんなことにはならなかったかもしれません。Bはどうすればよかったのでしょうか？

BはAから悪口を聞いた時に、A本人に『そんなことは言ってはいけない』とか、『そんなことはないと思う』などと伝えればよかったのではないのでしょうか？しかし、Aが自分よりも強い存在であった場合などでは、それは難しいと思いますので、そういう時には、まず先生に相談してください。

最後に、Cについて。とにかく、解決の手段として暴力は絶対だめです。嫌な気持ちになったり、どうしようかと心がざわついた時は、先生に相談してくださいね。

みんなの普段の行動・言動が、みんなの人権を守ることに繋がっていくのです。

毎月の人権チェックで、人を嫌な気持ちにしていないか振り返っていきましょう。

物事には必ず『原因』があります。その原因をなくさなければトラブルはなりません。また、原因になる行為をしがちな人、自分のこの行為が未来に何を引き起こすのかという『予見能力』を高めていくことで、トラブルがない人生になっていくことでしょう。